

## 平成22年4月提供分の請求時の留意点について

障害福祉サービス等提供事業者の皆様へ

横 浜 市

**横浜市では、今回の制度見直しに伴う受給者証を再発行していません。  
(施設入所支援、旧法入所、療養介護の支給決定者を除く。)**

平成22年4月1日から、障害福祉サービス等の利用者負担の国基準が0円になります。横浜市では、市基準の利用者負担が0円のため、ご利用者の実際の利用者負担に変更はありません。

このため、今回の制度見直しに伴う受給者証の再発行は行っていません。

平成22年4月サービス提供分からは、国基準を0円と読み替えて、請求事務を行ってください。

なお、ご利用者の4月以降の支給量などが変更になるなど、受給者証の更新が行われた場合は、国基準の欄は0円と記載しています。

お手順をお掛けしますが、御協力お願い致します。

### 平成22年4月からの制度見直しの内容

**所得階層の低所得1・2（市民税非課税世帯）に該当する障害者及び障害児の利用者負担が無料になります。**

**これに伴い、平成22年4月提供分以降の低所得1・2の方については、上限額管理は不要になります。**

横浜市では、独自の利用者負担額助成事業により、市民税非課税世帯で在宅サービスをご利用している方の利用者負担上限月額を0円にしていました。今回の国の制度見直しにより、国基準が0円になったため、横浜市独自の利用者負担額助成事業は終了になります。

### 簡易入力システム入力時の留意事項について

簡易入力システムをお使いの場合は、次の点にご注意ください。

- (1) 該当利用者の利用者負担を0円に変更してください。
- (2) 上限額管理が不要になるため、上限額管理対象者だった場合は、上限管理事業所の有効期間に終了日、平成22年3月31日を入力してください。

障害福祉情報サービスかながわの神奈川県からのお知らせに2010/02/10に登録されている

「平成22年4月からの請求について」も併せてご参照ください。